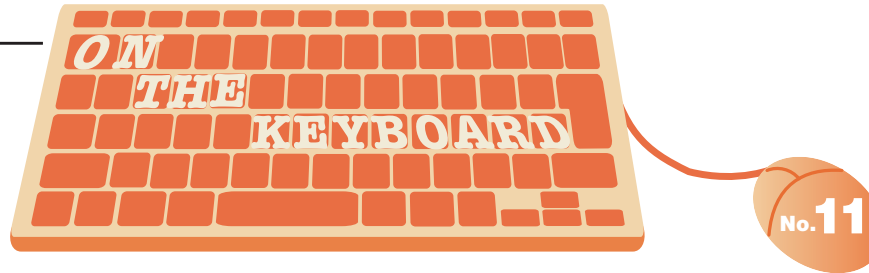


By Maya Jones



マヤ・ジョーンズ

1994年、英国・イングランド南東に位置するハンプシャー州生まれ。父親が英国人、母親がコロンビア人という家庭で育ち、幼少期から外国語と異文化に興味を抱く。2021年、ロンドン大学卒。専攻は日本語。在学中に来日し、1年間、東京外国語大学で学んだ。英国で開催された大学生対象の日本語スピーチコンテストで優勝するなど、卓越した日本語力を生かし、22年9月から東京都大田区の「おおた国際交流センター(Minto Ota)」で国際交流員として多文化共生を促進する仕事に従事している。趣味は絵画、写真、旅行、音楽・美術鑑賞など多岐にわたる。

Ota City's historic link to the witch city of Salem, Massachusetts

You may have heard of the city of Salem thanks to the **infamous Salem witch trials** of the 17th century, but did you know that Salem is actually sister cities with Ota City in Tokyo? The link between the two cities dates back further than you might think.

In 1877, Edward Sylvester Morse, an American zoologist, **embarked on** a journey to Japan to further his research on **mollusks**. During a train ride from Yokohama to Tokyo, Morse spotted what is now known as the Omori Shell Mounds through the

window — a discovery which would set the foundations of not only the study of archaeology in Japan, but also of a long-standing, rich relationship between Salem and Ota City.

Morse brought various **artifacts** back with him from Japan, which remain on display **to this day** at both the Museum of Fine Arts in Boston and the Peabody Essex Museum in Salem.

The Peabody Essex Museum **would go on to become** a sister museum of the Ota City Folk Museum in 1984, which

eventually led to the two cities signing a sister city agreement in 1991. In 2021, the two cities celebrated 30 years of continuous exchange.

Each year, residents, students and officials from each city **embark on** trips to visit each other, with cultural exchange events, homestays and visits to historical sites **constituting** important parts of their schedules.

The two cities maintain their strong bonds **even when apart** by exchanging letters, gifts and

video greetings.



音声は本文と一部異なる場合があります。

Ota City

(見出しから)東京23区の各区役所は「区」の訳語に city を使っている。横浜市などの区は ward。郵便物の住所の英語表記は Ota-ku のように ku でも構わない

infamous

悪名高い

Salem witch trials

セーラム魔女裁判。セーラム村(現在の米マサチューセッツ州ダンパース)で行われた裁判で、村人たちが魔女であるとして起訴され、19人が処刑され

た。「魔女裁判」は witchcraft trial(s) とも言う

embark(ed) on
～に乗り出した

mollusk(s)
軟体動物

artifact(s)
出土品、美術・工芸品

to this day
今日に至るまで

would...become
後に～になるのだった

constitute(-ing)
～を構成している

even...apart
離れていても

対訳

米国マサチューセッツ州の魔女の町セーラムと大田区の歴史的なつながり

17世紀の悪名高い「セーラム魔女裁判」のおかげで、セーラム市について耳にしたことはあるかもしれませんが、でも、セーラム市が実は東京都大田区と姉妹都市だというのはご存じでしたか？ 両都市の結びつきは想像以上に古いのです。

1877年、米国の動物学者エドワード・シルベスター・モースは、軟体動物の研究を深めるために日本へと旅立ちました。列車で横浜から東京に向かう途中、モースは窓の外に現在「大森貝塚」として知られるものを見つけます。日本の考古学のみならず、セーラム市と大田区との長年にわたる豊かな友好関係の基盤を築くことになる発見です。

モースはさまざまな出土品を日本から持ち帰り、それらは今でもボストン美術館とセーラム市のピーボディー・エセックス博物館に展示されています。

ピーボディー・エセックス博物館は1984年、大田区立郷土博物館と姉妹館提携を結び、これをきっかけに(セーラム市と大田区の)2都市は、最終的に1991年に姉妹都市提携を結ぶことになったのです。2021年には、30年続く友好関係を祝いました。

毎年それぞれの都市から住民や学生、職員らがお互いの国を訪問し、文化交流の催しやホームステイ、史跡巡りをするのが旅程の重要な要素となっています。

二つの都市は距離が離れていても、手紙やプレゼント、動画メッセージのやり取りを通して、強い友好関係を維持しています。

(訳 田端節子)